

## Lesson 11 世界遺産の魅力

A 「もし（今）～ならば」 現在の事実と違うことを仮定する

1. もし私があなたなら、家にいるだろう。

If I were you, I would stay home.

cf. もし明日が雨なら、私は家にいます。

If it rains tomorrow, I'll stay home.

時や条件を表す接続詞の後ろは現在形にする。 説明後述

2. もし宝くじに当たったら何を買いますか。

What would you buy if you were to win the lottery?

3. もしフランス語が話せたらなあ。

I wish I could speak French.

4. 川に橋があれば時間がかからなくて済むのに。

A bridge over the river would save a lot of time.

B 「もし（あの時）～だったら」 過去の事実と違うことを仮定する

5. もう少し早く着いていれば、電車に間に合ったのに。

If I had arrived a little earlier, I could have caught the train.

6. もし今朝電話をくれていなかったら、私はまだ寝ているだろう。

If you had not given me a call this morning, I would still be in bed.

7. この靴を買わなければよかったなあ。

I wish I hadn't bought these shoes.

8. あなたの助けがなかったら、宿題を終わらせることができなかっただろう。

Without your help, I could not have finished my homework.

### Expressions

1. もしインターネットがなかったら、十分な情報を得ることは難しいだろう。

If it were not for the Internet, it would be hard to get enough information.

発音) Internet スペルが nt の時、t は発音しないことが多い。(t は発音しない/t が落ちる、t が n に吸収される。)

e.g.) twenty (トゥエニー)、center (セナー)、counter (カウナー)、want to (ウォナ、ワアナ)、continental (カニネヌウ)

海外旅行で良く「InterContinental Hotel」に泊まりました。この発音は「イナーカニネヌウ」です。

単語) information = 不可算名詞 -> たくさんの情報 = a lot of information, much information

✕ many informations

2. あなたの将来について考えてもいいころだ。

It's time you started to think about your future.

3. サムは何もなかったように振る舞った。

Sam acted as if nothing had happened.

4. 私はタクシーに乗った。そうしなければ飛行機に乗り遅れていただろう。

I took a taxi; otherwise I would have missed the flight.

時や条件を表す接続詞の後ろは現在形にする。

「when」のポイントは「接続詞の when」なのか、「疑問詞の when」かである。

「接続詞の when」は「～する時」という意味。

「疑問詞の when」は「いつ～」という意味。

when や if の後で現在形を使うのは、その節が副詞の働きをしている場合である。when や if の作る節が名詞の働きをしているのであれば、未来のことを扱う場合には、今から未来のことについて推測することになるか、未来にすることについて自分がどんなつもりでいるかを述べることになる。

[when]

副詞節

I'll talk to him about our plan when he comes home.

彼が帰ってきたら、私は我々の計画を彼に話すつもりです。

「when he comes home」は、主節である「I'll talk to him about our plan」を修飾している。

→「彼が実際に戻ってきた」＋「その時に彼に話す」⇒推測の余地はないので will は用いない。

名詞節

Do you know when he will come home tomorrow?

あなたは彼が明日のいつ（何時に）家に帰ってくるか知っていますか？

「when he will come home tomorrow」は「know」の目的語。

→「今知っていますか？」＋「彼が明日のいつ戻る予定なのか」⇒推測なので will を用いる。

[if]

副詞節「もし～なら」

I'll stay home if it rains tomorrow.

明日雨が降れば、家にいます。（もし明日雨が降るなら、私は家にいます。）

「if it rains tomorrow」は、主節である「I'll stay home」を修飾している。

→「明日雨が降ってきた」＋「その時に家にとどまる」⇒推測の余地はないので will は用いない。

名詞節「～かどうか」

I wonder if it will rain tomorrow.

明日雨が降るかなあ。（明日雨が降るのかどうか、今、～かどうかと思う。）

「if it will rain tomorrow」は「wonder」の目的語。

→「今～かしらと思う」＋「明日雨が降るかどうか」⇒推測なので will を用いる。

名詞節

文中で名詞と同じ働きをする節を名詞節という

副詞節

文中の名詞以外の語句（おもに動詞や主節全体）を修飾する節を副詞節という。